

第7期高齢者保健福祉計画の進行管理について

本資料は、第7期計画の計画値と実績値の比較や現状、その自己評価を記しています。本資料をご覧いただき、全般的なご意見や推計値と実績値の比較及び令和元年度と令和2年度の比較等に対するご意見をいただければ幸いです。

意見書記入例

1. 第7期高齢者保健福祉計画の進行管理について

記載例1：実績値と計画値の乖離が多いので、精査した計画値を求める。

記載例2：「3 介護保険事業」において、令和元年度及び令和2年度の（介護予防）居宅療養管理指導の利用率が著しく高く、被保険者の健康に対する意識の高さを感じる。

（個別のご意見は、資料中の番号と表題を記載してください）

高齢者保健福祉計画について

1 逗子市の高齢者を取り巻く状況

(1) 高齢者人口

	令和元年度			令和 2 年度			令和 3 年度
	推計値	実績値	対推計比	推計値	実績値	対推計比	推計値
総人口(人)	59,609	59,492	99.8%	59,366	59,582	100.4%	59,061
40～64歳人口	21,580	21,567	99.9%	21,657	21,857	100.9%	21,725
高齢者人口	18,712	18,650	99.7%	18,662	18,696	100.2%	18,477
65～74歳人口	8,041	7,963	99.0%	7,912	7,874	99.5%	7,758
75歳以上人口	10,671	10,687	100.1%	10,750	10,822	100.7%	10,719
高齢化率	31.4%	31.3%	99.7%	31.4%	31.4%	100.0%	31.3%

各年度10月1日現在。住民基本台帳による。

(2) 要支援・要介護認定者数

	令和元年度			令和 2 年度			令和 3 年度
	推計値	実績値	対推計比	推計値	実績値	対推計比	推計値
要介護等認定者(人)	4,121	3,943	95.7%	4,225	4,047	95.8%	4,106

第 1 号被保険者及び第 2 号被保険者の合計数。各年度10月1日現在。

(3) 総合事業対象者数

	令和元年度		令和 2 年度		令和 3 年度
	推計値	実績値	推計値	実績値	推計値
総合事業対象者(人)	178	352	178	249	362

実績値：令和 3 年 3 月 31 日現在。

(4) 介護度別認定者数（令和 3 年 4 月末日現在）

	第 2 号被保険者		第 1 号被保険者				総数	
	40～64歳		65～74歳		75歳以上			
要支援 1	5	7.5%	28	8.1%	443	12.1%	476	11.7%
要支援 2	6	8.8%	48	13.8%	572	15.6%	626	15.3%
要介護 1	14	20.6%	86	24.8%	713	19.5%	813	19.9%
要介護 2	16	23.5%	72	20.7%	668	18.2%	756	18.5%
要介護 3	12	17.6%	36	10.4%	462	12.6%	510	12.5%
要介護 4	9	13.2%	36	10.4%	463	12.6%	508	12.5%
要介護 5	6	8.9%	41	11.8%	343	9.4%	390	9.6%
合 計	68	100.1%	347	100.0%	3,664	100.0%	4,079	100.0%

2 施設等の整備状況

(1) 第7期計画期間中の新規・増設等の見込み

区分	施設種別	第7期の目標	整備状況
入所施設	介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	・100床の新設を目指す。	・第7期期間中に公募したが、応募なし。
入居施設	認知症対応型共同生活介護	・2ユニット(定員18人)を本計画中に整備する。	・令和2年10月に桜山4丁目に2ユニット(定員18名)開設。
	特定施設入居者生活介護	・70床の新設を目指す。	・令和元年10月に42床の施設を開設。

(2) 第7期計画期間中の整備済み施設

区分	施設種別	施設数	定員数
入所施設	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	3	268人
	介護老人保健施設	1	75人
入居施設	認知症対応型共同生活介護	5	81人
	地域密着型特定施設入居者生活介護	1	23人
	特定施設入居者生活介護	5	227人

(3) 第6期及び第7期計画期間中の整備済み地域密着型サービス

サービス種別	令和元年度	令和2年度
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	1
夜間対応型訪問介護	0	0
認知症対応型通所介護	2	2
認知症対応型共同生活介護	4	5
小規模多機能型居宅介護	3	3
看護小規模多機能型居宅介護	0	0
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0	0
地域密着型特定施設入居者介護	1	1
地域密着型通所介護	14	13

3 介護保険事業

(1) 居宅介護サービス（介護1～5）

（単位：人／月）

	令和元年度			令和2年度			令和3年度
	計画値	実績値	達成率	計画値	実績値	達成率	計画値
訪問介護	811	779	96.1%	841	826	98.2%	738
訪問入浴介護	96	54	56.3%	101	62	61.4%	77
訪問看護	375	385	102.7%	409	453	110.8%	438
訪問リハビリテーション	50	55	110.0%	49	61	124.5%	65
居宅療養管理指導	692	1,306	188.7%	700	1,527	218.1%	754
通所介護（デイサービス）	627	535	85.3%	650	546	84.0%	531
通所リハビリテーション（デイケア）	197	126	64.0%	200	121	60.5%	175
短期入所生活介護	217	175	80.6%	217	168	77.4%	192
短期入所療養介護（老健）	34	21	61.8%	35	14	40.0%	23
短期入所療養介護（病院等）	2	0	0.0%	2	0	0.0%	0
福祉用具貸与	1,018	983	96.6%	1,061	1,128	106.3%	1,046
特定福祉用具購入費	44	20	45.5%	48	24	50.0%	24
住宅改修費	25	18	72.0%	24	19	79.2%	19
特定施設入居者生活介護	294	295	100.3%	345	341	98.8%	360
居宅介護支援	1,682	1,465	87.1%	1,720	1,641	95.4%	1,650

(2) 介護予防サービス（要支援1・2）

（単位：人／月）

	令和元年度			令和2年度			令和3年度
	計画値	実績値	達成率	計画値	実績値	達成率	計画値
介護予防訪問介護							
介護予防訪問入浴介護	0	1	0.0%	0	1	0.0%	1
介護予防訪問看護	15	39	260.0%	15	44	293.3%	42
介護予防訪問リハビリテーション	13	11	—	15	12	—	14
介護予防居宅療養管理指導	85	116	136.5%	93	120	129.0%	72
介護予防通所介護（デイサービス）							
介護予防通所リハビリテーション（デイケア）	61	36	59.0%	61	33	54.1%	45
介護予防短期入所生活介護	5	2	40.0%	5	1	20.0%	2
介護予防短期入所療養介護（老健）	2	1	50.0%	3	0	0.0%	1
介護予防福祉用具貸与	218	234	107.3%	244	240	98.4%	274
特定介護予防福祉用具購入費	10	6	60.0%	10	4	40.0%	6
介護予防住宅改修費	10	11	110.0%	11	7	63.6%	12
介護予防特定施設入居者生活介護	70	52	74.3%	89	47	52.8%	55
介護予防支援	624	289	46.3%	626	299	47.8%	335

《(1)・(2)の現状と評価》

居宅介護サービス（要介護1～5）及び介護予防サービス（要支援1・2）とも、達成率等の傾向は類似しています。いずれも（介護予防）居宅療養管理指導の利用率が著しく高く、被保険者の健康に対する意識の高さがうかがえます。なお、低額な費用で医療の専門家から生活に関するアドバイスを得られることから、引き続き（介護予防）居宅療養管理指導利用の促進を図ってまいります。

一方で利用率が低いサービスとして、（介護予防）短期入所生活介護、（介護予防）短期入所療養介護、特定（介護予防）福祉用具購入費等が挙げられますが、まず短期入所（ショートステイ）については、被保険者及び家族の利用希望と施設の短期入所の空き状況に乖離があり、なかなか希望どおりの利用が難しいため利用率が低下しているものと推測されます。また、特定（介護予防）福祉用具購入費につきましては、購入可能な福祉用具が限定されていることや、入浴補助用具については風呂場における手すりの設置等で代用できることから、利用の促進には至っていません。第8期計画の策定にあたっては、第7期の状況を踏まえて、実績に即した計画値を設定いたしました。

(3)地域密着型サービス

(単位：人/月)

	令和元年度			令和2年度			令和3年度
	計画値	実績値	達成率	計画値	実績値	達成率	計画値
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	10	2	20.0%	20	2	10.0%	3
認知症対応型通所介護	52	29	55.8%	57	34	59.6%	35
小規模多機能型居宅介護	36	27	75.0%	60	41	68.3%	46
認知症対応型共同生活介護	87	54	62.1%	89	62	69.7%	59
地域密着型特定施設入居者生活介護	19	15	78.9%	19	16	84.2%	17
地域密着型通所介護	387	342	88.4%	389	334	85.9%	350

(4)地域密着型介護予防サービス

(単位：人/月)

	令和元年度			令和2年度			令和3年度
	計画値	実績値	達成率	計画値	実績値	達成率	計画値
介護予防小規模多機能型居宅介護	4	2	50.0%	6	4	66.7%	2
介護予防認知症対応型共同生活介護	1	0	0.0%	1	0	0.0%	0

《(3)・(4)の現状と評価》

本市の傾向として、地域密着型サービスの利用傾向が低いことが挙げられます。住み慣れた地域で生活を続けられることを目的とした地域密着型サービスですが、利用者の認知も今一つと思われます。今後地域共生社会を実現するにあたり、地域の特性に応じた地域密着型サービスの活用は今後の課題と思われます。

(5)訪問型サービス・通所型サービス（従前相当分）（単位：人／月）

	令和元年度	令和2年度			令和3年度
	実績値	計画値	実績値	達成率	計画値
訪問型サービス（従前相当分）	269	289	220	76.1%	274
通所型サービス（従前相当分）	427	343	347	101.2%	437

(6)施設サービス

（単位：人／月）

	令和元年度			令和2年度			令和3年度
	計画値	実績値	達成率	計画値	実績値	達成率	計画値
介護老人福祉施設	313	287	91.7%	368	315	85.6%	315
介護老人保健施設	154	138	89.6%	154	142	92.2%	142
介護療養型医療施設	7	2	28.6%	5	2	40.0%	2
介護医療院	0	1	—	5	1	—	1

《現状と評価》

サービス提供基盤の確保に向けて事業者情報の収集と参入促進に努めます。

介護療養型医療施設及び介護医療院は、市内に該当施設がないため、近隣市の施設利用が主となります。介護療養型医療施設の廃止については厚生労働省が2023年度末まで延長しましたので、市内・市外を問わず代替施設等の情報把握に努めるとともに、今後も国の動向に注視していきます。

(7)市町村特別給付

（単位：人／年）

	令和元年度			令和2年度			令和3年度
	計画値	実績値	達成率	計画値	実績値	達成率	計画値
移送サービス	210	154	73.3%	210	266	126.7%	300

《現状と評価》

移動支援のニーズに対応するため、介護保険法に規定する市町村特別給付サービスとして、平成15年度から逗子市が独自に移送サービスを提供しています。なお令和3年度から対象要件を拡大し、要介護1以上の方（本人非課税の要件は変わらず）も対象とし、介護保険のケアプランに位置付けた上で、通院等のための移送サービスを利用できます。

(8)負担限度額認定証（各年度4月末日現在）

（単位：人）

	令和元年度	令和2年度
第1段階（老齢福祉年金等）	24	20
第2段階（所得等80万円以下）	51	51
第3段階（その他非課税）	212	221

(9)負担割合（基準日：8月1日）

（単位：人）

	令和元年度	令和2年度
1割負担	3,379	3,509
2割負担	430	433
3割負担	415	405

4 地域包括支援センターの充実・強化

(1) 地域包括支援センター運営事業

《現状と評価》

令和2年度は社会福祉課へ移管した地域共生係（基幹型地域包括支援センター）を中心に、日常生活圏域ごとに市内3か所の地域包括支援センターが、地域の中核機関として高齢者の総合相談支援業務、包括的継続的ケアマネジメント、権利擁護等の事業を実施しました。

各センター地域福祉計画において、今後の包括的支援体制における複合的な課題への相談窓口として位置づけられたことに伴い、今後属性を問わない相談支援体制を取るために、令和2年7月から開庁時間を平日19時、土曜日8時30分～12時とし、働き世代などに配慮した体制としました。

5 在宅医療と介護の連携

(1) 地域包括ケアシステム推進事業

《現状と評価》

地域包括ケアシステムの構築を目的に、市主催の地域包括ケア会議を年2回、各地域包括支援センター主催の地域ケア会議を22回実施しました。コロナ禍における介護予防のための検討や、認知症の理解、地域での見守りの必要性等をテーマに開催しました。

また、基幹型センターを中心に「介護予防のための地域ケア会議」を7回実施しました。自立支援を目指す介護予防ケアマネジメントを検証し、難病やターミナルケア、訪問介護による生活援助の回数の多い事例を検討しました。事例のアセスメント内容から高齢者の社会参加の必要性が高いことがわかりました。

(2) 在宅医療・介護連携推進事業（所管課：国保健康課）

《現状と評価》

逗葉地域在宅医療・介護連携相談室（以下、連携室）では、多職種連携会議を2回書面会議で開催し、逗葉地域の病院、訪問看護ステーション、地域包括支援センターなど、医療福祉関係機関の課題を共有し、連携の仕組みづくりについて検討しました。研修会は、1回開催しました。また、関係者が相談しやすいよう、サロンを1回設けています。さらに、病院との退院前カンファレンス、訪問、ケアマネジャーからの相談等、計72名（延277件）の相談に対応し、在宅での見取りについてのアンケート調査を行いました。

6 在宅生活の支援

(1) 生活支援体制整備事業

《現状と評価》

第1層・第2層生活支援コーディネーターが協働して地域における社会資源の開発やネットワークの構築を行いました。住民主体による生活支援サービス（訪問型サービスB）や、介護予防の通いの場の充実のために、一時閉会したサロン活動の再開支援を行いました。生活支援に必要なサービスを集約した地域包括支援システム（かながわ福祉サービス振興会）に情報を集約し見える化しました。

(2) ひとり暮らし高齢者訪問事業

項目	単位	令和元年度			令和2年度			令和3年度
		目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値
訪問件数	件	2,000	1,374	68.7%	2,000	1,363	68.2%	1,500

《現状と評価》

定期的な訪問（社会福祉協議会に委託）により、ひとり暮らし高齢者の把握に努めています。地域包括支援センターや地域住民等と連携を図ることで見守りが円滑に行われています。

(3) 福祉緊急通報システム事業

項目	単位	令和元年度			令和2年度			令和3年度
		目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値
設置数	件	85	51	60.0%	85	46	54.1%	51

《現状と評価》

新規設置者と利用廃止件数(施設入所や家族との同居、死亡等)の相殺により、実績は微減となっています。

(4) 福祉配食サービス事業

項目	単位	令和元年度			令和2年度			令和3年度
		目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値
利用実人員	人	56	32	57.1%	56	35	62.5%	40
配食延回数	食	6,700	5,013	74.8%	6,700	4,991	74.5%	5,900

《現状と評価》

日常生活に支障のある高齢者等に対し、訪問により昼食を届け、低栄養予防・改善のための食の確保と安否確認のための配食サービスを実施しています。民間サービスの充実等により利用者数が減少傾向にありますが、今後も介護保険制度やその他サービスとの調整を図りながら、対象者の状況に合致したアセスメントを行い、配食を行っていきます。より適正な支給を行うため、緊急財政対策に基づき、支給対象の見直しを図り、新規申請は非課税世帯等が対象となっています。

(5) 在宅高齢者紙おむつ等支給事業

項目	単位	令和元年度			令和2年度			令和3年度
		目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値
利用登録実人数	人	510	267	52.4%	510	205	40.2%	250

《現状と評価》

要介護3以上と認定された高齢者を在宅で介護している家族に対し、介護に必要な紙おむつを現物で月額支給し、在宅介護をする家族の負担軽減を図っています。緊急財政対策に基づき、支給対象の見直しを図り、新規申請は非課税世帯等が対象となっています。

7 地域福祉の推進（見守り・支え合い）

(1)ひとり暮らし高齢者実態把握事業

項目	単位	令和元年度	令和2年度
		実績値	実績値
訪問活動（延べ）	件数	12,657	13,666

《現状と評価》

民生委員児童委員協議会に委託し、ひとり暮らし高齢者を訪問し、状況把握と安否確認を行っています。

8 介護予防の推進

(1)介護予防・日常生活支援総合事業

項目	単位	令和元年度			令和2年度			令和3年度
		目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値
水中運動	開催コース数	回/年	7	6	85.7%			
	延開催回数	回/年	28	24	85.7%			
	延参加者数	人/年	840	498	59.3%			
運動器向上	開催コース数	回/年	8	8	100.0%	6	2	33.3%
	延開催回数	回/年	32	28	87.5%	72	14	19.4%
	延参加者数	人/年	960	634	66.0%	1,382	94	6.8%
認知症予防	開催コース数	回/年	4	4	100.0%	4	2	50.0%
	延開催回数	回/年	48	43	89.6%	48	13	27.1%
	延参加者数	人/年	832	757	91.0%	832	166	20.0%
サロン数	か所	27	26	96.3%	28	15	53.6%	25
サロン延参加者数	人/年	12,325	13,309	108.0%	13,432	5,637	42.0%	-

《現状と評価》

令和2年度より、水中運動と運動器向上の教室は統合し、新たに1つの講座として開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に変更・縮小し開催となった。認知症予防教室についても同様に縮小開催となった。

サロンについても、新型コロナウイルス感染症の影響により6月末までは自粛要請を行い、7月以降の再開支援を地域包括支援センターや社会福祉協議会と協力し、安全・安心して開催できる感染予防策の提案や助言等をOJT、OFF-JTにて行ったが、約半数のサロンが活動を休止したまま令和2年度が終了となった。

(2)訪問型サービスB（住民主体による訪問型サービス）

項目	単位	令和2年度	令和3年度
訪問型B	ヶ所	3	3

《現状と評価》

生活機能の低下の恐れのある者に対し、状態が悪化することの予防、地域における自立した日常生活の支援を目的に、地域の実情に応じた住民主体による支援を実施しました。NPO法人等を実施主体とし新型コロナの影響がありましたが、各運営法人のコーディネーターが感染防止対策を施し、継続的に実施をしました。

担い手の確保に課題がある中、今後も担い手の養成やフォローアップを継続的に行っていきます。

(3)通所型サービスC（短期集中予防サービス）

※平成29年度から、介護予防・日常生活支援総合事業移行に伴い、旧2次予防事業を再編

	単位	令和元年度			令和2年度			令和3年度	
		目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	
運動器口腔栄養の複合型	延開催回数	回/年	230	230	100.00%	230	2	-	190
	延参加者数	人/年	-	660	-	-	3	-	-
	1回あたりの平均登録者数	人/年	10	3	49%	10	3	-	56

《現状と評価》

緊急事態宣言下において、休止を余儀なくされ年間2回のみの開催に留まりました。対象者の参加要望はあったものの開催が出来なかったため、通所型サービスの利用を勧め、代替の資源を紹介し対応しました。

(4)介護予防普及啓発事業（シニア健康体操）

項目	単位	令和元年度			令和2年度			令和3年度
		目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値
参加者数	人	1,100	756	68.7%	1,100	0	0.0%	1,100

《現状と評価》

高齢者自身が主体（ズシップ連合会）となり、日常生活の基本ともいえる筋力強化による運動奨励策に加え、自立健康者への支援と寝たきりゼロを目指す取り組みにより、介護サービスを受けない高齢者づくりを推進するためのシニア健康体操教室を実施しています。令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐ観点から、シニア健康体操教室は中止となりました。

(5)男性の健康料理教室（所管課：国保健康課）

項目	単位	令和元年度			令和2年度			令和3年度
		目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値
延参加者数	人	264	201	76.1%	264	35	13.3%	24

※令和3年度以降の目標値は実人数となっています。

《現状と評価》

年間24回（12回×2コース）で開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大のため4月～9月は実施できず、10月から定員を半数（6人）とし、6回開催しました。1月～3月も開催予定でしたが、緊急事態宣言発令のため中止となりました。定員半数での開催だったが参加者の協力もあり、献立変更もせずに時間内に教室終了することが出来ました。

(6)食生活改善推進員養成講座（所管課：国保健康課）

項目	単位	令和元年度			令和2年度			令和3年度
		目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値
延参加者数	人	216	143	66.2%	216	107	49.5%	12

※令和3年度以降の目標値は実人数となっています。

《現状と評価》

1コース全10回の講義及び実習を実施しました。生活習慣病予防や食育、調理実習、献立作成等幅広い視点から食について学ぶことができるため、受講者の知識や技術の向上に有効だと考えられます。新型コロナウイルス感染予防のため、定員を18名から12名に減らし、実施しました。

9 生きがい・社会参加の推進

(1) 生きがい推進事業（公衆浴場入浴助成事業）

項目	単位	令和元年度			令和2年度			令和3年度
		目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値
利用延件数	人	9,750	7,541	77.3%	9,750	12,965	133.0%	11,000

《現状と評価》

公衆浴場を高齢者の交流の場として提供することにより、ふれあいの場づくり、世代間の交流、近隣との交流、高齢者の孤独感の解消等、高齢者福祉の向上を図っています。平成30年度から、利用できる公衆浴場については、鎌倉市内の公衆浴場を廃止し、市内の唯一の公衆浴場のみの利用としましたが、平成30年8月末をもって休業したことから、代替の対応として、鎌倉市内及び横須賀市の公衆浴場において、利用可能としましたが、令和2年8月から市内唯一の公衆浴場が再開したことにより利用件数が増加しました。なお、市外の鎌倉市及び横須賀市の公衆浴場の利用を廃止としました。

(2) 高齢者センターの運営

項目	単位	令和元年度			令和2年度			令和3年度
		目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値
延利用者数	人	27,500	25,568	93.0%	27,500	1,243	4.5%	23,000

《現状と評価》

高齢者等の健康増進、教養の向上及びレクリエーションの便宜や健康相談などを総合的に提供し、高齢者の生活向上を図っています。サークル活動の場、食事の提供、老人クラブ等自由活動支援など多角的に事業を展開し、元気な高齢者の集いの場として利用されています。令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐ観点から、11、12月の2カ月間のみの開館であったため、実績値は大幅に減少しました。

(3) 福祉バス運行事業

項目	単位	令和元年度			令和2年度			令和3年度
		目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値
利用者数	人	35,000	35,203	100.6%	35,000	1,120	3.2%	29,000

《現状と評価》

市街地から離れて立地する高齢者センターに利用者の安全な送迎を目的に、3ルートを設定し無料の2点間運行で福祉バス((株)パブリックサービスへ委託)を運行しています。平成2年度から、さらなる利便性の確保のため、逗子アリーナを経由し、逗子アリーナ開館時、60歳以上の逗子アリーナ利用者も利用可能としましたが、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐ観点から、逗子アリーナの閉館の影響ため、実績値は大幅に減少しました。

(4) ふれあい祭り事業

項目	単位	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		目標値	実績値	達成率	実績値	実績値
高齢者の集い（ふれあい祭り）参加者	人	323	280	86.7%	0	—

《現状と評価》

高齢者の生きがいと健康づくり推進事業の一環として企画、運営をズシッ浦連合会に委託し、総合的なイベントを高齢者自らが関係団体の協力を得て実施し、各種イベントを通じ世代間の交流、高齢者の意識改革、社会参加活動の促進を図って、ふれあいと活力のある長寿社会づくりに寄与しています。

平成30年度よりふれあい祭りについては、「高齢者の集い」として、ズシッ浦連合会直営の事業となります。令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐ観点から、「ふれあい祭り」は中止となりました。

10 認知症施策の推進

(1) 認知症総合支援事業

項目	単位	令和2年度
チーム員会議開催数	回	8
認知症カフェ開催数	回	11

《現状と評価》

認知症初期集中支援事業として、平成30年4月より認知症初期集中支援チームを高齡介護課に設置しました。構成員は認知症サポート医、社会福祉課保健師、社会福祉士、各地域包括支援センターの認知症地域支援推進員です。今後もチームと地域包括支援センターが連携しながら早期対応していきます。

認知症地域支援推進員としては、社会福祉課保健師が中心となり各地域包括支援センター看護職3名の兼務しています。定期的な情報交換会を開催し、活動の方向性を共有しています。2か所の地域包括支援センターでは、毎月認知症カフェを開催し、認知症のご本人やご家族の支援の場となっています。

(2) 認知症サポーター養成事業

項目	単位	令和元年度			令和2年度			令和3年度
		目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値
認知症サポーター養成数	人	200	426	213.0%	200	59	29.5%	400

《現状と評価》

認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を見守り支援する認知症サポーターを養成します。地域住民だけではなく、職域にも認知症サポーターを増やすための養成講座も実施していましたが、新型コロナの影響により地域においての開催は4回に留まりました。

(3) 家族介護者支援事業

項目	単位	令和元年度			令和2年度			令和3年度
		目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値
教室開催回数	回	4	4	100.0%	4	2	50.0%	4
教室参加者数	人	80	36	45.0%	80	29	36.3%	80
交流会開催回数	回	3	3	100.0%	3	2	66.7%	3
交流会参加者数	人	40	22	55.0%	40	29	72.5%	40
相談会開催回数	回	12	11	91.7%	12	11	91.7%	12
相談会参加者数	人	36	18	50.0%	36	15	41.7%	36

《現状と評価》

教室については、介護者が介護を適切に行うための知識や技術の習得等を目的に、家族介護者交流事業と一体化して社会福祉協議会に委託しています。家族介護者に対する介護情報や介護技術の習得、介護による心身の疲労を癒すことを総体的に考え事業を実施することで、本来の目的である家族介護者に対する支援が適切にできると考えています。開催内容の工夫や周知、参加しやすい環境づくり等について検討していきます。

交流会については、在宅の高齢者を介護する者に対し、家族介護者教室の開催後に交流会を開催し、介護者同士の交流を図っています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、2回の開催となりました。

相談会については、認知症高齢者（疑い含む）を在宅介護している家族が、認知症介護に関する相談をして必要な支援が受けられることを目的に毎月開催しています。精神保健福祉士が認知症に関する幅広い相談に対応し、必要時は地域包括支援センターに引き継ぐことで、切れ目のない家族支援に繋がると考えています。なお、開催周知の工夫として、就労家族も予約しやすい土曜日開催を実施し3名の相談がありました。

(4)徘徊高齢者対策事業

項目	単位	令和元年度			令和2年度		
		目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
発信器利用者数	人						

《現状と評価》

認知症等により徘徊行動のある高齢者を在宅で介護する家族に対し、GPSを貸与しましたが、緊急財政対策に基づきGPSの貸与は平成30年度で終了となりました。現在は、認知症等により高齢者が行方不明になった場合、地域の支援を得て早期発見ができるよう、関係機関との情報ネットワーク（徘徊高齢者SOSネットワーク）により支援体制を構築しています。